

# スマイルシティ都城

## 基盤づくり予算



本市の平成25年度の当初予算が成立しました。  
「スマイルシティ都城」を実現するための基盤づくり予算として、都城の基幹産業である農林畜産業の振興や地の利を生かすための基幹道路などの整備、次世代を担う子どもたちを育成するための予算を盛り込みました。  
また、総合支所や山間地域の活性化を図るため、地域活性化事業に必要な基金を創設しました。

◎問い合わせ 財政課 ☎ 23-2113

### 予算編成の基本的な考え方

昨年末に新政権が誕生し、日本経済の再生を図ろうと大胆な金融政策などが進められ、24年度補正予算と25年度当初予算を合わせて100兆円を超える「15ヶ月予算」を編成し、切れ目のない経済対策を実行しようとしています。

市では、そのような国の動向を注視しながら、市民の笑顔があふれる「スマイルシティ都城」を実現するための基盤づくりに重点を置いた予算編成を行いました。

特に、6次産業化推進事業や全国和牛能力共進会对策事業など、農林畜産業の振興・活性化のために3億1,288万円、「地の利」活用策として、都城志布志道路の早期全線開通を後押しするための経費や基幹道路整備事業などに4億845万円、人間力あふ

### 平成25年度当初予算の姿

◎7つのマニフェストを中心的な施策として都城が持つ3つの宝、「農林畜産業」「地の利」「次世代を担う子どもたち」を輝かせるために、11億9,511万円を計上

◎財政健全化を引き続き堅持  
臨時財政対策債を除く市債残高は、前年度と同水準（24年度末936億円→25年度末935億円）

れる子どもたちの育成のために必要な英語教育や、図書館サポーターの充実などを行う事業に4億7,378万円を計上し、都城が持つ「3つの宝」を輝かせるための予算を編成しました。

### 平成25年度当初予算の概要

一般会計予算は、737億3千万円と、前年度当初予算に比べ57億2千万円の増額となりました。

歳出面では、定年退職者の増などにより人件費が1億4千万円増加し、115億7千万円となりました。また、普通建設事業費は、クリーンセンター建設事業などにより47億7千万円増加し、132億6千万円となりました。歳入面では、市税が1億2千万円増加の173億5千万円、地方交付税は、4億7千万円減少の191億5千万円、国・県支出金は、30億6千万円増加の161億8千万円を見込んでいます。

また、新規市債発行額は、普通建設事業費の増加により、前年度に比べ16億円増加の99億7千万円となりました。なお、市債残高については、後年度の地方交付税で100割措置される臨時財政対策債を除くと、ほぼ横ばいの見込みです。



都城が持つ宝

# 3つの宝を輝かせる事業を推進

## 1 農林畜産業の振興

農林畜産業者の所得向上を目指し、地域経済の活性化を図ります

### 6次産業化推進事業

【予算額 2億6,005万円】

6次産業化とは、これまでの農業の「生産して販売する」というスタイルから、「生産して、地元で加工し、付加価値を付けて販売する」というスタイルへ転換し、地元の農林畜産業者の所得を向上させ、ひいては、地域経済の活性化を図るものです。

市では、基幹産業である農林畜産業の6次産業化に向けて、積極的に国や県の事業を取り入れながら、推進するための組織体制の確立や市独自の支援事業などについて、検討を行ってまいります。

名実ともに「日本一の和牛産地」を目指します

### 全国和牛能力共進会対策事業

【予算額 5,283万円】

平成29年に開催される全国和牛能力共進会宮城県大会に合わせ、5カ年計画で必要な対策や予算措置を行い、名実ともに「日本一の和牛産地」の称号獲得のために、最後まで生産者をサポートしていきます。

今年度は、都城産の能力のある種雄牛を作り上げるため、新規種雄牛人工授精推進事業や新規種雄牛肥育素牛導入事業などを行いデータを蓄積するとともに、育成技術のレベルアップを図るなど、総合的な対策を行います。

### 生産

1次産業

6次産業化による  
新たなビジネスの創出

2次産業

加工

3次産業

流通販売



## 2 「地の利」の活用

### ① 都城志布志道路関連事業

【予算額 302万円】

### ② 山之口サービスエリアスマートインターチェンジ整備事業

【予算額 2,313万円】

### ③ 基幹道路などの整備

(鷹尾上長飯通線)

【予算額 3億8,230万円】

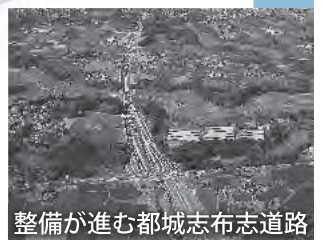
都城志布志道路は、発生が危惧される南海トラフ巨大地震などの災害時に志布志港と内陸部のバックアップシテイとなる都城を結ぶ「防災の道」、都城の物流を支え地域経済を活性化させる「経済の道」、

加えて、都城

広域定住自立圏域の救急医療体制を構築する「医療の道」としても期待されています。このようなことから、早期の全線開通に向けて積極的に取り組んでいきます。

また、山之口サービスエリアの

スマートインターチェンジ整備事業や基幹道路の整備事業などを行い、さらに「地の利」を拡大していきます。



## 3 人間力あふれる子どもたちの育成

### ① ALTによる語学指導事業

【予算額 3,067万円】

### ② 小学校図書館サポーター配置事業

【予算額 922万円】

### ③ 早水公園整備事業

【予算額 2億9,719万円】

### ④ 高城運動公園整備事業

【予算額 1億3,670万円】

平成28年度までにALT（外国語指導助手）の倍増を目指します。今年度は2人増員して9人とし、語学力の向上や豊かな国際感覚を身に付ける機会を拡大します。

また、小学校

図書館の利用促進を図るために配置している図書館サポーターを10

人から13人に増員するなど、児童の読書活動を推進します。

さらに、早水公園サブアリーナの用地取得のほか、高城運動公園にクラブハウスを建設するなど、スポーツ環境の充実も図ります。

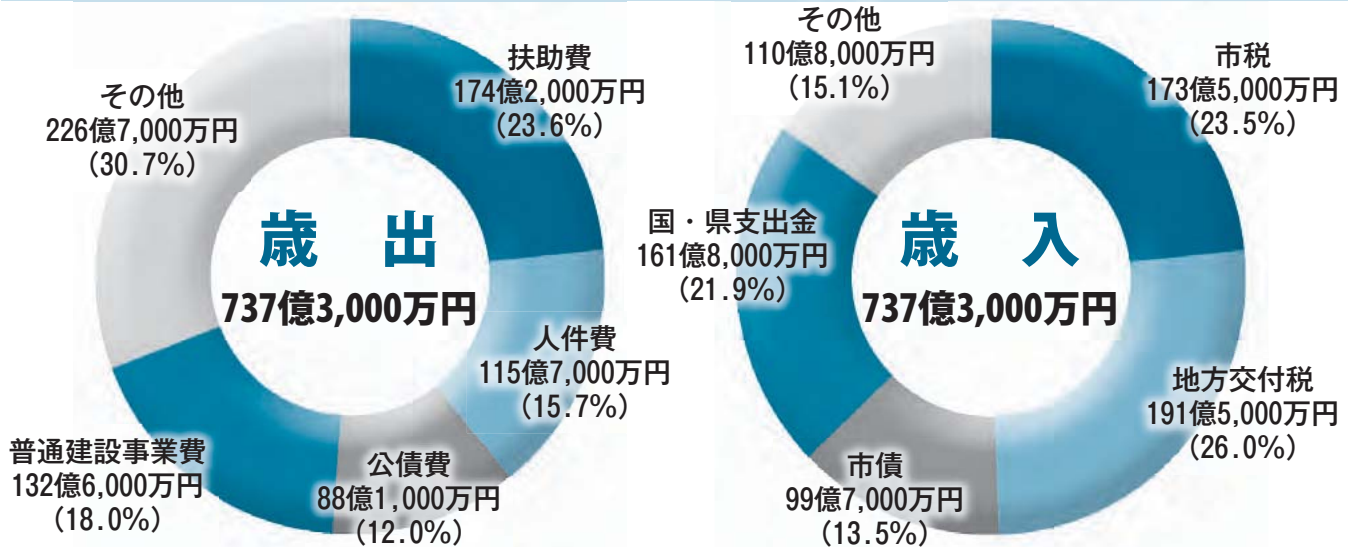


# 一般会計歳入歳出予算総額

737億3,000万円  
(対前年度比8.4%増)

平成25年度の一般会計予算は、737億3,000万円を計上。  
ここでは、予算の内訳について、費目ごとに増減の主な要因を紹介するとともに、一般会計予算を家計簿に例え、分かりやすく解説します。

## 一般会計予算



### 【用語解説】

市債 ▶ 建設事業や災害復旧事業などの財源となる借入金  
公債費 ▶ 市が発行した市債(借金)返済のための経費

扶助費 ▶ 生活保護や児童・老人福祉事業などに要する経費

## 一般会計歳出予算費目別一覧

(単位：千円)

款名	平成24年度 当初予算(A)	平成25年度 当初予算(B)	増減額 (B)-(A)	増減の主な要因
議会費	416,839	415,900	△ 939	
総務費	6,885,248	7,315,633	430,385	地域振興基金への積み立て、新防災行政無線整備事業などの増額
民生費	24,945,854	26,386,116	1,440,262	障害者福祉サービス給付費や法人立保育所入所負担金などの増額
衛生費	7,014,656	11,700,064	4,685,408	クリーンセンター建設事業などの増額
労働費	5,454	9,393	3,939	実践型地域雇用創造事業の増額
農林水産業費	3,338,502	3,724,566	386,064	農山漁村活性化プロジェクト支援交付金事業や森林整備加速化・林業再生事業などの増額
商工費	2,394,088	2,444,813	50,725	山田パークゴルフ場整備事業などの増額
土木費	6,397,745	6,079,252	△ 318,493	社会資本整備総合交付金事業(鷹尾上長飯通線)や公営住宅ストック総合改善事業などの減額
消防費	2,011,345	2,317,433	306,088	消防救急無線デジタル化整備事業や高崎分署移転事業などの増額
教育費	5,084,951	4,185,353	△ 899,598	西岳小学校建設事業や山田体育館改修事業、西岳地区公民館建設事業などの事業終了
その他	9,515,318	9,151,477	△ 363,841	
合計	68,010,000	73,730,000	5,720,000	

### 【用語解説】

総務費 ▶ 課税、戸籍、選挙などの経費  
衛生費 ▶ 保健衛生や清掃などの経費

民生費 ▶ 高齢者や児童、障がい者などの福祉のための経費  
教育費 ▶ 教育や文化財保護、スポーツ振興などの経費



## 都城市の家計簿

平成25年度の一般会計予算を、月額30万円の家計に置き換えると

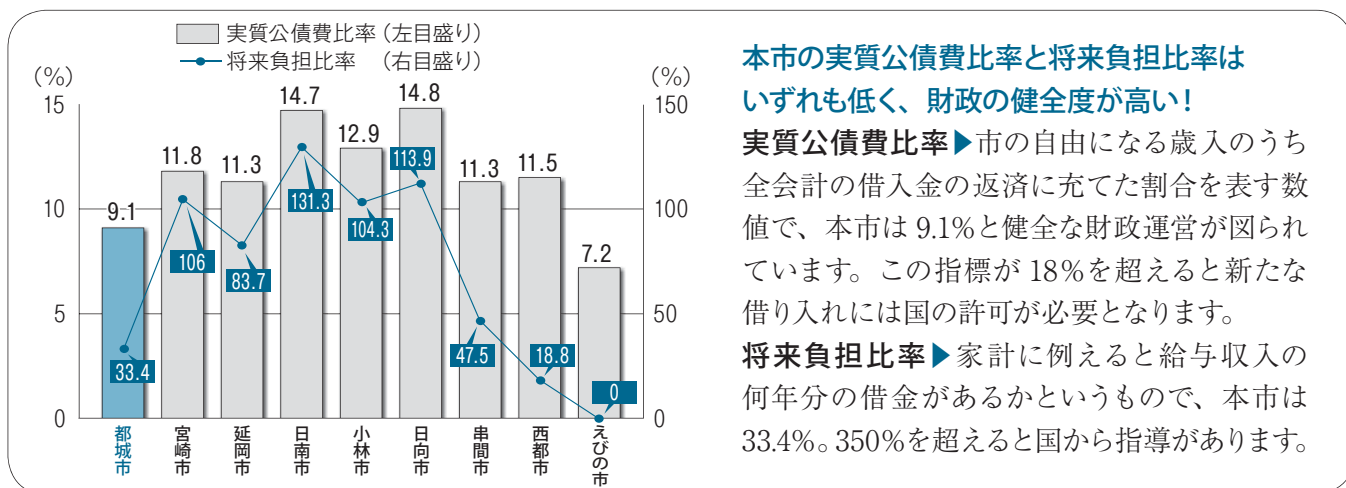
### 支出

項目	金額	割合
食費(人件費)	47,063円	15.7%
保険料や医療費(扶助費)	70,865円	23.6%
家屋の増改築・修理(投資的経費)	54,909円	18.4%
ローン返済(公債費)	35,864円	12.0%
預貯金(積立金)	2,577円	0.9%
その他の生活費(物件費・維持補修費など)	88,722円	29.4%

### 収入

項目	金額	割合
給料(地方税など)	82,151円	27.4%
家族からの仕送り(地方交付税)	77,926円	26.0%
親戚などからの援助(国・県補助金)	65,825円	21.9%
その他の収入(使用料・手数料など)	22,048円	7.4%
新たな借金(市債)	40,549円	13.5%
預貯金の取り崩し(繰入金)	11,501円	3.8%

## 実質公債費比率と将来負担比率の比較 (県内9市)

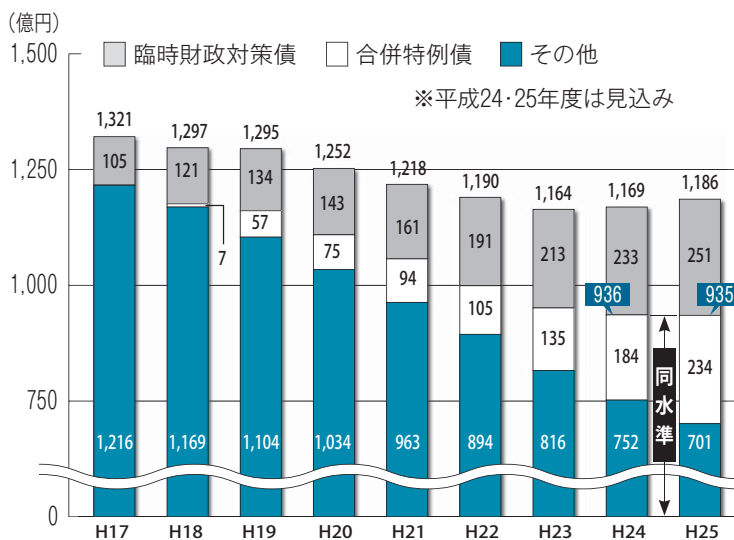


## 市債残高の推移 (全会計)

### 臨時財政対策債を除く市債残高は前年度末と同水準を維持!

市の借入金、地方交付税の代わりに市が発行する臨時財政対策債、合併後の10年間に限り市が発行できる合併特例債と、その他の借入金からなります。後年度の地方交付税で臨時財政対策債は100%、合併特例債は70%、借入金の元利償還金に対して措置されます。

※全会計とは、一般会計、特別会計、企業会計を合わせたもの。数字は、各年度末の残高



# 平成25年度当初予算 特色ある事業

- 一般会計予算  
737億3,000万円
- 特別会計予算  
447億8,475万6,000円
- 企業会計予算  
37億4,239万8,000円
- 合計  
1,222億5,715万4,000円

ここでは、スマイルシティ都城の基盤づくり予算として編成した、平成25年度当初予算の中で、特色ある事業を紹介します。

## 地域活性化のための基金に2億円を積み立て

平成25年～28年度までの4年間で地域を活性化します(地域活性化事業)

**地域振興基金**  
4年分をまとめて  
**2億円積み立て**  
※1年当たり5,000万円を地域活性化事業の財源に充てます

権限と財源を  
移譲

財源

権限

地域振興基金の  
取り崩し

地域活性化事業  
として予算化し、  
事業着手

各総合支所などで要望の調整  
地域審議会 地域の住民など

総合支所のある山之口・高城・山田・高崎地区や市の山間部に位置する中郷・志和池・庄内・西岳地区では、少子高齢化が進み、人口も減少しています。

そこで、そのような地域の活性化を図るために、地域振興基金2億円を積み立て、地域のまちづくりに活用してもらいます。

この基金の一番の特長は、地域でその使い道を決めてもらうことにあります。地域住民で何を重点的に進めていくかを話し合い、実施する事業を決定します。その事業を実施する上で、財源となるのがこの地域振興基金です。



### こども基金活用事業

【予算額 240万円】

市民が子どもを安心して生み育て、子どもが生き生きと育つ環境を整えるために、子ども基金を活用して子育てグループなどが自ら実施する事業を支援しています。これまでの補助金の交付回数(累計3回)の制限を撤廃し、継続して支援できるように改めました。



### 障害幼児言語訓練事業

【予算額 143万円】

言語発達に遅れのある就学前の幼児とその保護者に、言語聴覚士による言語訓練や言語発達に関する相談・指導を行います。

### 養豚生産性向上対策事業

【予算額 1,100万円】

養豚経営は、飼料代の高止まりなどで厳しい状況にあるため、母豚の導入にかかる経費の一部を助成し、生産基盤の強化を図ります。



### 郡元東南地区緊急整備事業

【予算額 5,300万円】

郡元東南地区は、道路の狭いところや道路が冠水する地域があるため、道路の拡幅工事や側溝の敷設工事を行い、市街地環境を改善します。

### 健康医療ゾーン整備事業

【予算額 12億3,369万円】

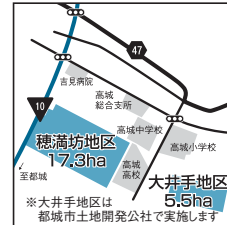
今年度は市郡医師会病院などの施設の建築や多目的広場の土地造成工事などを行い、平成26年度中の開院を目指します。



### 雇用創出ゾーン関連整備事業

【予算額 5億2,266万円】

雇用創出ゾーンの都城インター工業団地大井手地区（5・5ハ）は今年度から分譲を開始します。また、穂満坊地区（17・3ハ）は、平成27年度の方譲開始を目指し、今年度は、造成工事などを行います。



### 高崎分署移転事業

【予算額 1億3,450万円】

北消防署高崎分署は、昭和47年に建設され、建築後40年が経過し、老朽化が著しいことから高崎総合支所敷地内へ新築移転します。

### JR吉都線100周年記念事業

【予算額 706万円】

10月8日に開業100周年を迎えるJR吉都線都城駅。100周年を記念して式典を行うほか、環霧島周遊列車の運行や都城・谷頭・高崎新田駅の3駅で同時物産展を行うなど、吉都線の魅力を広く情報発信していきます。



### 学校運営協議会制度推進事業

【予算額 328万円】

地域の皆さんと協働しながら、地域一体となって子どもの成長を支えるため、各小・中学校に学校運営協議会を設置し、学校の運営や教育活動を支援していきます。

### 都城島津伝承館特別展開催事業

【予算額 540万円】

徳川幕府崩壊のきっかけとなったペリー来航から160年。新たな国家への船出である幕末維新时期に焦点を当て、都城島津家と鹿兒島藩の人々の動向と歴史について紹介します。



### 美術館特別展・企画展事業

【予算額 1,460万円】

陶芸や書、絵画など幅広い分野の芸術家として著名な北大路魯山人。特別展では、笠間日動美術館所蔵の魯山人の作品約80点を展示します。

## そのほかの事業内容

都城市総合計画の4つの基本理念ごとに掲載します。

### ① 市民が主役のまち

総額160億92万円

- ◎市歌制定事業 104万円
- ◎行政事務連絡経費 9,389万円
- ◎まちづくり協議会設置推進事業 4,981万円
- ◎市議会議員選挙費 1億1,995万円

### ② ゆたかな心が育つまち

総額739億6,107万円

- ◎がん検診事業 1億1,438万円
- ◎児童手当給付費 31億3,710万円
- ◎市町村子ども子育て支援事業 計画策定事業 373万円

### ③ 緑あふれるまち

総額82億3,893万円

- ◎指定ごみ袋事業 6,659万円
- ◎志和池最終処分場第2期建設事業 4億4,400万円
- ◎ごみ収集運搬費 4億4,361万円
- ◎クリーンセンター建設事業 53億9,892万円

### ④ 活力あるまち

総額240億5,624万円

- ◎森林整備加速化・林業再生事業 1億169万円
- ◎青年就農給付金事業 2,120万円
- ◎農業体質強化基盤整備促進事業 9,000万円
- ◎がんばる農家収益向上整備事業 500万円